

# 静岡市立清水三保第一小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

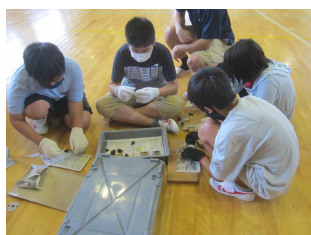
令和3年7月6日(火)

## 本物と出会う大切さを感じ、夢中で学んでいました。

歴史の学習が始まり、体験を通して古代人の苦勞を知ったり、知恵を学んだりして、古代人の生活を身近に感じることができていることをねらいとして、出前授業の計画を立てました。今回は、2学級ということもあり、土器の分類体験と石器の試し切り体験をセットにして、火起こし体験とローテーションすることで、火起こし体験の時間を長くとることができました。

### ◎土器の分類体験と石器の試し切り体験

静岡県内で出土した縄文・弥生・古墳時代の土器についての話を聞いた後、実際に土器片を手に取り、重さや肌触り、模様や色などをよく比べながら、各班で分類してみました。それぞれの時代の土器の模様や厚さ、色の違いなどを話し合い、夢中になって分類していました。



本物の打製石器や磨製石器を触って、感触を確かめることで、石器について細かく知ることができました。黒曜石が主に神津島や長野県の和田峠などの限られた地域でしか採れない貴重な石であることを知り、驚いていました。

### ◎火起こし体験

今回は火起こし体験の時間を40分間とったことで、多くの班が火を起こすことができました。弾み車をリズムよく回すことが難しかった子も、やっいていくうちに慣れてきて、たくさんの子が調子よく回すことができるようになり、火種を作ることができました。「フーフータイム」も根気よくやったことで、火を起こすことができました。火が起きたときの感動をみんなで共有していたように感じました。その後も夢中になって弾み車を回し、何回も火を起こすことができ、出前授業が有意義なものになったことと思います。

